

5/25 三里塚集会 「不当処分粉碎」全国総決起を決定！

日刊 動労千葉

80.5.28
NO.440

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（電話二二五八〇九・公衆電話三三二七二〇七）

五・二五三里塚第一公園を埋め尽した八千六百余名の全国の闘う仲間、激しい怒りをもやし、動労千葉への不当処分策動を弾劾し、総力あげて粉碎闘争に立つことを宣言し、万雷の拍手で「特別決議」を採択した。五月末、六月上旬にも画策されている、かつてない悪らつな選別的な不当処分、三里塚処分としてのこの攻撃を、あらゆる力を出しきって断乎として粉碎していこう！ 六月総決起へ！

石橋委員長代行あいさつ（要旨抜粋）

十四年間続けた空港反対運動は、八〇年、八〇年代、廃港への決着をつける地平をきりひらいてきた。内閣不信任、解散という支配者の混乱、このようにときこそ廃港に迫りこみ、戦争への道を断つチャンスだ。韓国・光州での人民決起に見習って、今こそ腐敗した国政をうちくだそう。動労千葉が組織を上げて労働連帯、ジェット闘争を続け、この欠陥空港は備蓄二日分のつなわたりで維持されている。この闘いをつぶすための国鉄当局、革マル一体となつた今回の不当処分攻撃は絶対に許さない。全国の皆さんが総力をあげて動労千葉支援、三里塚処分粉碎に立つことを強く訴える。

動労千葉関川委員長決意表明（要旨抜粋）

一年前の動労千葉の独立は、真の労働運動再建と三里塚闘争勝利への突破口を開く決起であった。燃料を断ち切る昨年二波のスト、ひきつづく今春闘でのスト決起、そして来年三月の暫定輸送期限切れという事態を前に焦る当局と革マルが一体となって攻撃をかけてきたのが今回の不当処分だ。同時に、三十五万人合理化に真正面に対決する動労千葉をつぶすことを狙った前代未聞の悪らつな処分攻撃をはじめ三里塚の勝利、日本労働運動の勝利の道はひらける。動労千葉は不退転の決意をもって万全の総決起体制をすでに固めていく。全国仲間と共に断乎として闘いぬく。

300名の隊列で決起（5・25）



5・25三里塚空港粉碎全国総決起集会特別決議
国鉄当局革マル一体となつた動労千葉不当処分策動を怒りをこめて弾劾する。

高木国鉄総裁、秋山千葉鉄道管理局長は一切の処分弾圧策動をただちにやめよ！

動労千葉は去る四月春闘において、総武・房総全線ですトライキに決起し、燃料貨車輸送をまる一日完全に阻止し、労働連帯の実力闘争をたたかいぬいた。このたたかいが政府、空港公団に重大な打撃をあたえたことはいうまでもない。

これに対して、国鉄当局は許すべからざる報復不当処分を策動している。昨年十二月の首切りを含む一〇六名余の処分に続く今回の処分策動が、三里塚闘争をたたかう動労千葉を破壊しようとする権力の悪辣な弾圧攻撃であることは明らかである。

しかも国鉄当局は処分弾圧の口実として、スト前夜の四月十五日、動労千葉津田沼支部を襲撃し、スト破りをはかって失敗した動労「本部」革マルの「動労千葉が計画的に襲撃した」などというデマを利用し、「動労千葉を処分せよ」という要求ののっかり、驚くべきことにはスト破り襲撃を受けた当の動労千葉にたいし「職場秩序を乱した」という処分理由を一方的にデッチあげているのである。手段を選ばぬ弾圧というべきである。

二期着工の前提たるパイプライン期限内建設は危険きわまりない突貫工事にもかかわらず絶望的であり、貨車輸送の期限切れは来年三月に迫っている。いまやパイプライン建設粉碎のたたかいと「期限延長阻止」のたたかいは政府公団の恐怖のまどである。ここにこそ動労千葉に対するこんなかいの処分弾圧策動の真の狙いがあるのだ。

五・二五三里塚に全国から結集したわれわれは、いまこそ動労千葉との連帯をますます固め、総力をあげて処分弾圧策動粉碎のため決起することを決意する。

高木国鉄総裁よ！ 秋山千葉鉄道管理局長よ！
動労千葉に対するいかなる処分弾圧もわれわれ三里塚空港粉碎をたたかう農民、労働者、学生、市民に対する敵対であることを忘れるな！ 一切の処分策動をただちにやめよ！

右、要求する。

一九八〇年五月二十五日

三里塚芝山連合空港反対同盟
三里塚空港粉碎全国総決起集会